



# HP 2310t および 2310ti LCD タッチモ ニター

ユーザーガイド

© 2010 Hewlett-Packard Development  
Company, L.P.

Microsoft、Windows および Windows Vista  
は米国またはその他の国における  
Microsoft Corporation の商標または登録商  
標です。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当  
該製品およびサービスに付属の保証規定に  
明示的に記載されているものに限られま  
す。本書のいかなる内容も、当該保証に新  
たに保証を追加するものではありません。  
本書に記載されている製品情報は、日本国  
内で販売されていないものも含まれている  
場合があります。本書の内容につきましては  
は万全を期しておりますが、本書の技術的  
あるいは校正上の誤り、省略に対して責任  
を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有  
権に関する情報が掲載されています。本書  
のいかなる部分も、Hewlett-Packard  
Company の書面による承諾なしに複写、複  
製、あるいは他言語へ翻訳することはでき  
ません。

初版：2010 年 3 月

製品番号：603455-291

## このガイドについて

このガイドでは、モニターのセットアップ、ドライバーのインストール、オンスクリーンディスプレイメニューの使用法、トラブルの解決方法、およびモニターの仕様について説明します。

- △ **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。
  - △ **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。
  - 📖 **注記：** 重要な補足情報です。
-



# 目次

<b>1 製品の特長</b> .....	<b>1</b>
HP 2310t および 2310ti モデル .....	1
<b>2 安全および保守に関するガイドライン</b> .....	<b>2</b>
安全に関する重要な情報 .....	2
保守に関するガイドライン .....	2
モニターの清掃 .....	3
モニターの運搬 .....	3
<b>3 モニターのセットアップ</b> .....	<b>4</b>
背面の各部 .....	4
HP 2310t モデル .....	4
HP 2310ti モデル .....	5
ケーブルの配線 .....	6
ケーブルの接続 .....	6
VGA (アナログ) ビデオケーブルの接続 (HP 2310ti モデルのみ) .....	7
DVI-D (デジタル) ビデオケーブルの接続 .....	7
HDMI (デジタル) ビデオケーブルの接続 (HP 2310t モデルのみ) .....	7
オーディオケーブルの接続 .....	8
USB ケーブルの接続 .....	9
電源コードの接続 .....	9
傾斜角度の調整 .....	10
キーボードの収納 .....	11
モニターの電源投入 .....	11
モニタースタンドの取り外し .....	12
モニターの取り付け .....	14
製品ラベルの位置 .....	15
ロックケーブルの取り付け .....	15
<b>4 モニターの操作</b> .....	<b>16</b>
ソフトウェアおよびユーティリティ .....	16
情報ファイル .....	16
Image Color Matching ファイル .....	16
.INF および .ICM ファイルのインストール .....	17
CD からのインストール .....	17
インターネットからのダウンロード .....	17
タッチスクリーン用ドライバーのインストール (Windows XP のみ) .....	17

タッチスクリーンの使用 .....	18
自動調整機能の使用 .....	20
フロントパネルの各部 .....	21
モニターの設定の調整 .....	22
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用 .....	22
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの選択 .....	23
デジタルコンバージョンの最適化 .....	28
モニターの状態の確認 .....	29
スリープタイマーモード .....	30
sRGB のサポート .....	31
色温度の変更 .....	31
Windows 2000 および Windows XP への sRGB ICM ファイルのインストール .....	31
Windows Vista への sRGB ICM ファイルのインストール .....	31
Microsoft Windows 7 への sRGB ICM ファイルのインストール .....	32
<b>付録 A トラブルシューティング .....</b>	<b>33</b>
一般的なトラブルの解決方法 .....	33
オンライン技術サポート .....	35
お問い合わせになる前に .....	35
<b>付録 B 技術仕様 .....</b>	<b>36</b>
2310t および 2310ti モデル .....	36
プリセットディスプレイ解像度について .....	37
2310t および 2310ti の工場出荷時プリセット表示モード .....	37
2310t の高解像度ビデオフォーマット .....	37
ユーザーモードの使用 .....	38
エナジーセーブ機能 .....	39
<b>付録 C 規定に関するご注意 .....</b>	<b>40</b>
Federal Communications Commission Notice (米国向け) .....	40
Modifications .....	40
Cables .....	40
Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (米国向け) .....	40
Canadian Notice (カナダ向け) .....	41
Avis Canadien (カナダ向け) .....	41
European Union Regulatory Notice (欧州連合同向け) .....	41
German Ergonomics Notice (ドイツ向け) .....	42
日本向け .....	42
Korean Notice (韓国向け) .....	42
電源コードの要件 .....	42
日本国内での電源コードの要件 .....	42
製品環境に関するご注意 .....	43
有害物質の破棄 .....	43

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union (欧州連合向け) .....	43
HP リサイクルプログラム .....	43
化学物質 .....	43
製品の部材表示について .....	43
Turkey EEE Regulation (トルコ向け) .....	44

<b>付録 D LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針 .....</b>	<b>45</b>
--	-----------





# 1 製品の特長

## HP 2310t および 2310ti モデル

HP LCD タッチスクリーンモデルでは、アクティブマトリクス方式の TFT ワイドパネルを採用しています。このモニターの特長は以下のとおりです。

- 表示領域 23 インチ（対角長 58.42 cm）のディスプレイ、1920 × 1080 の解像度以下でフルスクリーンサポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 縦置きで設置した場合に、55 度まで傾けて使用できる傾斜角度調節機能
- 取り外し可能なモニタースタンドと、壁面固定などさまざまな方法で固定が可能な VESA (Video Electronics Standards Association) 準拠の取り付け穴（壁への取り付け金具やアーム等は別途お買い求めください。また、それらの器具の使用による事故に関して保証はいたしません）
- 2310t では、付属の DVI-D ビデオ（信号）ケーブルで DVI デジタル信号および HDMI デジタル信号をサポート
- 2310ti では、付属の DVI-D ビデオケーブルで VGA アナログ信号および DVI デジタル信号をサポート
- モニターとコンピューターの USB コネクタを接続して、タッチスクリーン機能を利用可能にする USB ケーブルが付属
- プラグアンドプレイ機能（コンピューターシステムでサポートされる場合）
- すばやい応答により、ゲームやグラフィックスの操作性を向上
- モニターの背面にオプションのセキュリティロックケーブル用のスロットを搭載（セキュリティロックケーブルは別売です）
- ケーブルやコードの配線に役立つケーブルマネジメント機能
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- 前方への指向性の高い内蔵スピーカー、オーディオケーブルが付属
- キーボード収納スペース
- Quick View（クイック ビュー）設定表示
- DVI および HDMI 入力での HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）によるコピー防止機能
- モニタードライバーおよび製品の説明書が収録された『Software and Documentation CD』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）
- 低消費電力の環境要件に準拠したエナジーセーブ機能
- 以下の規定に準拠
  - European Union CE Directives
  - Swedish MPR II 1990

## 2 安全および保守に関するガイドライン

### 安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。モニターに接続する適切な電源コードについては、[42 ページの「電源コードの要件」](#)を参照してください。

△ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ・必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は重要な安全機能です。
- ・電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされたコンセントに差し込んでください。
- ・製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HP の Web サイト (<http://www.hp.com/ergo/> から [日本語] を選択します) から参照できます。また、モニターに説明書等のドキュメントを収録した CD が付属している場合はこの CD にも収録されています。

△ **注意：** モニターおよびコンピューターを保護するために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。

お使いの HP LCD モニターは、十分な大きさがあり安定している家具に設置してください。

△ **警告！** 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に不適切に LCD モニターを設置した場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。


LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルは、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意してください。

### 保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。

- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流 (AMPS または A) は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っ張って抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：** 画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニタースタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

## モニターの清掃

1. モニターの電源を切ってモニターから電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。

△ **注意：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

**注意：** ベンゼン、シンナーなどの揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

## モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

## 3 モニターのセットアップ

モニターをセットアップするには、モニター、コンピューターシステム、およびコンピューターに接続されているその他の装置の電源がオフになっていることを確認してから、以下の操作を行います。

### 背面の各部

#### HP 2310t モデル

図 3-1 2310t の背面の各部

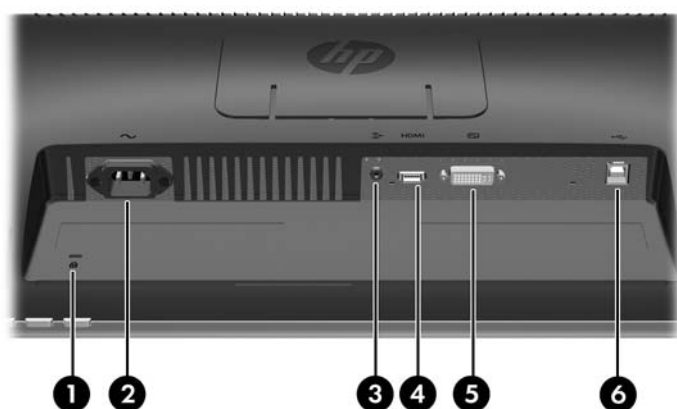


表 3-1 2310t の背面の各部

名称	機能
1 セキュリティロックケーブル用スロット	セキュリティロックケーブル用のスロットです
2 電源コネクタ	電源コードをモニターに接続します
3 オーディオコネクタ	オーディオケーブルをモニターに接続します
4 HDMI コネクタ	HDMI ケーブルをモニターに接続します
5 DVI-D コネクタ	DVI-D ケーブルをモニターに接続します
6 USB アップストリームコネクタ	モニターの USB ケーブルをホストコンピューターに接続し、タッチスクリーンをサポートします

## HP 2310ti モデル

図 3-2 2310ti の背面の各部

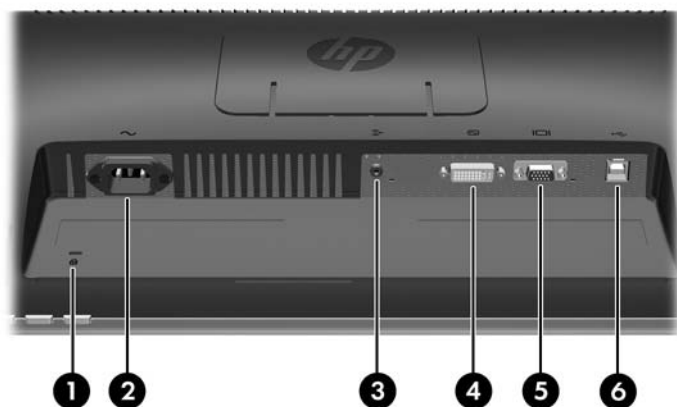


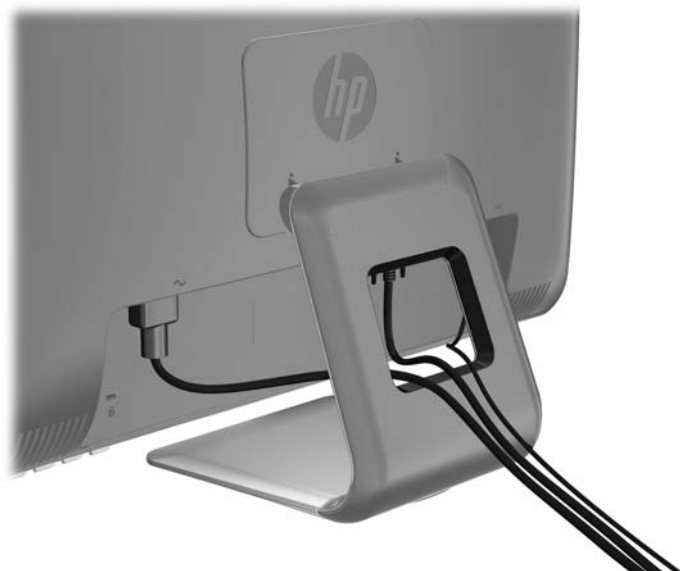
表 3-2 2310ti の背面の各部

名称	機能
1 セキュリティロックケーブル用 スロット	セキュリティロックケーブル用のスロットです
2 電源コネクタ	電源コードをモニターに接続します
3 オーディオコネクタ	オーディオケーブルをモニターに接続します
4 DVI-D コネクタ	DVI-D ケーブルをモニターに接続します
5 VGA コネクタ	VGA ケーブルをモニターに接続します
6 USB アップストリームコネクタ	モニターの USB ケーブルをホストコンピューターに接続し、タッチスクリーンをサポートします

## ケーブルの配線

ケーブルを接続する前に、スタンドの中央にあるケーブルマネジメントホールにケーブルを通しておきます。

図 3-3 ケーブルの配線



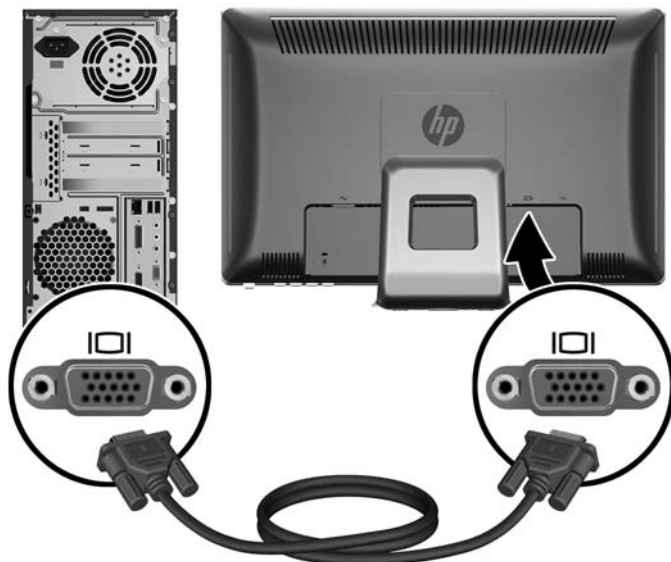
## ケーブルの接続

- △ **注意：** ケーブルをモニターに接続する前に、コンピューターおよびモニターの電源が切断されていることを確認してください。

## VGA (アナログ) ビデオケーブルの接続 (HP 2310ti モデルのみ)

アナログで操作を行う場合は、VGA ビデオケーブル(別売)の一方の端をモニターの背面にある VGA コネクタに接続し、もう一方の端をコンピューターの VGA コネクタに接続します。

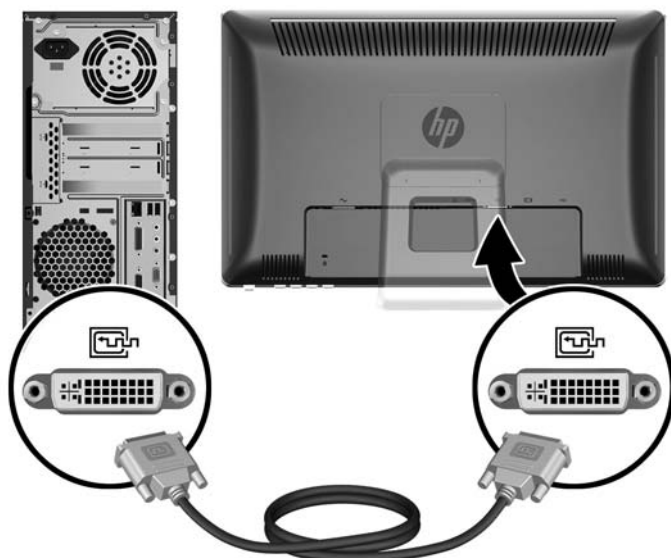
図 3-4 VGA ケーブルの接続



## DVI-D (デジタル) ビデオケーブルの接続


DVI デジタルで操作を行う場合は、DVI-D ビデオケーブルの一方の端をモニター背面にある DVI コネクタに接続し、もう一方の端をコンピューターの DVI コネクタに接続します。

図 3-5 DVI-D ケーブルの接続

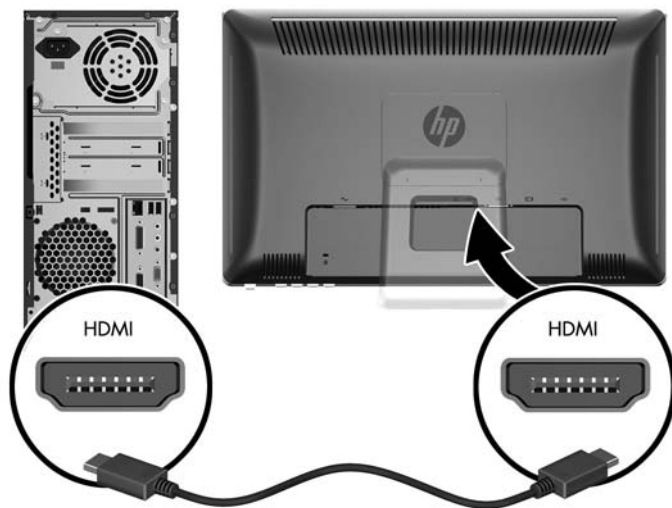


## HDMI (デジタル) ビデオケーブルの接続 (HP 2310t モデルのみ)

HDMI デジタルで操作を行う場合は、HDMI ビデオケーブル(別売)の一方の端をモニター背面に接続し、もう一方の端をコンピューターまたは他のデバイスの HDMI コネクタに接続します。


-  **注記：** HDMI ケーブルでは、デジタルオーディオ信号とデジタルビデオ信号がサポートされます。HDMI ケーブルを使用する場合は、オーディオケーブルを別途接続する必要がありません。

**図 3-6** HDMI ケーブルの接続

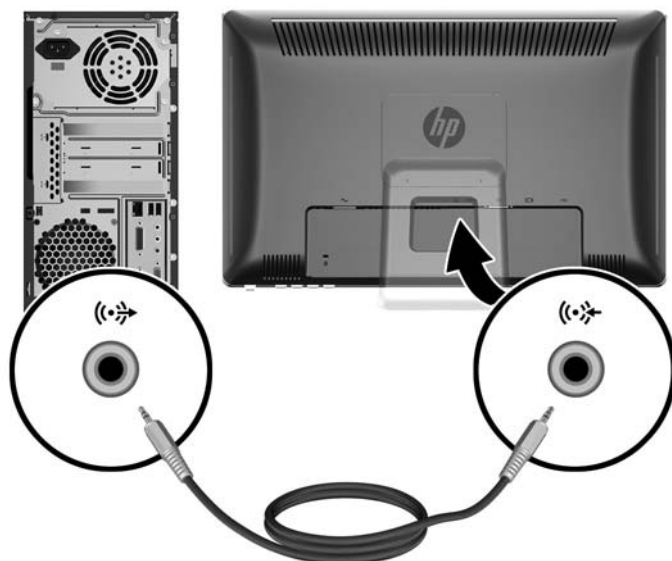


## オーディオケーブルの接続

付属のオーディオケーブルの一方の端をモニターの背面にあるオーディオ入力コネクタに接続し、もう一方の端をコンピューターのオーディオ出力コネクタに接続します。

-  **注記：** HDMI ケーブル (2310t モデルのみ) でモニターとコンピューターを接続する場合は、オーディオケーブルを接続する必要がありません。HDMI ケーブルでは、オーディオデジタル信号とビデオデジタル信号がサポートされます。

**図 3-7** オーディオケーブルの接続





## USB ケーブルの接続

付属の USB ケーブルの一方の端をモニターの背面にある USB アップストリームコネクタに接続し、もう一方の端をコンピューターの USB ダウンストリームコネクタに接続します。


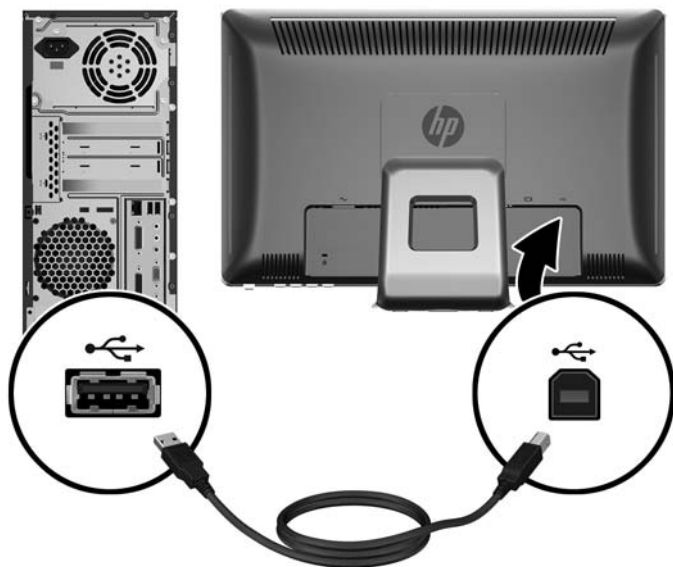
 **注記：** タッチスクリーン機能を使用するには、USB ケーブルを接続する必要があります。

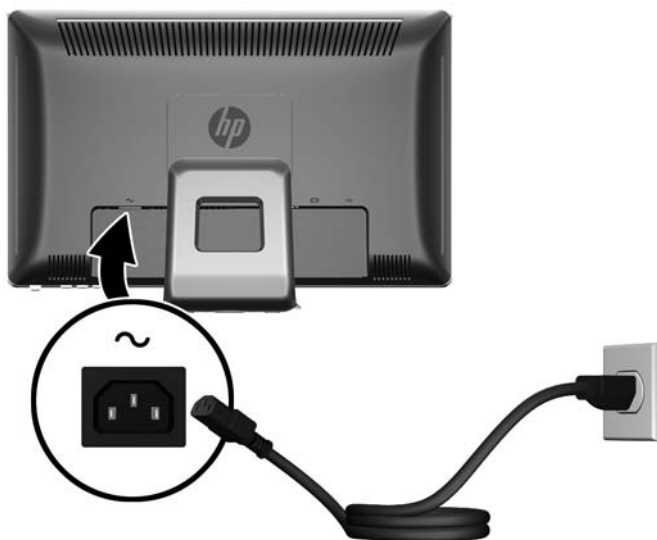
図 3-8 USB ケーブルの接続



## 電源コードの接続

電源コードの一方の端をモニターの背面にある電源コネクタに接続し、もう一方の端を電源コンセントに接続します。

図 3-9 電源コードの接続



△ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は重要な安全機能です。

電源コードは、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

モニターへの外部電源の供給を遮断するには、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

## 傾斜角度の調整

画面の傾斜角度を好みの位置に調整して最適な状態で表示するには、以下の操作を行います。

1. モニターの前面を正面に向け、傾斜角度の変更中にモニターが倒れないようにモニタースタンドを押さえます。
2. 画面に触れないようにしながら、モニターの上端を前方または後方に動かして傾斜角度を調整します。モニターは前方に 5 度、後方に 55 度傾斜させることができます。

図 3-10 傾斜角度の調整



## キーボードの収納

机の上をより広く使用したい場合は、使用しないときにキーボードをモニターの下に収納します。

図 3-11 キーボードの収納



## モニターの電源投入

1. コンピューターの電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
2. モニターのフロントパネルにある電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。

△ **注意：** モニターに長時間 \* 一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性があります、一定の時間が経過すると自然に消えます。画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

\* ここで長時間とは、使用されていない状態が 12 時間連続することを指します。

☞ **注記：** 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

**注記：** 電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。モニターのフロントパネルの Menu (メニュー) ボタンを押して、**[Management]** (マネジメント) → **[Bezel Power LED]** (ベゼルの電源ランプ) → **[Off]** (オフ) の順に選択します。

モニターの電源が入ると、モニターステータスメッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブな信号の入力、ソース自動切り替え設定のステータス (オンまたはオフ)、初期設定のソース信号、現在のプリセットディスプレイ解像度、および推奨されるプリセットディスプレイ解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画面を表示します。2 つの入力がアクティブな場合は、初期設定の入力ソースが表示されます。初期設定のソースがアクティブな入力に含まれていない場合は、アクティブな他の入力モニターに表示されます。フロントパネルの Menu (メニュー) ボタンを押して、**[Source Control]** (ソース コントロール) → **[Default Source]** (初期設定のソース) の順に選択すると、OSD で初期設定のソースを変更できます。

## モニタースタンドの取り外し

モニターを壁掛け式にしたり、またはスイングアームやその他の固定器具（別売）を取り付けたりするために、モニタースタンドからパネルを取り外すことができます。

△ **注意：** モニタースタンドの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていること、および電源ケーブルとビデオケーブルが電源コンセントやコンピューターから取り外されていることを確認してください。また、USB ケーブルとオーディオケーブルがモニターに接続されている場合は、それらのケーブルを取り外してください。

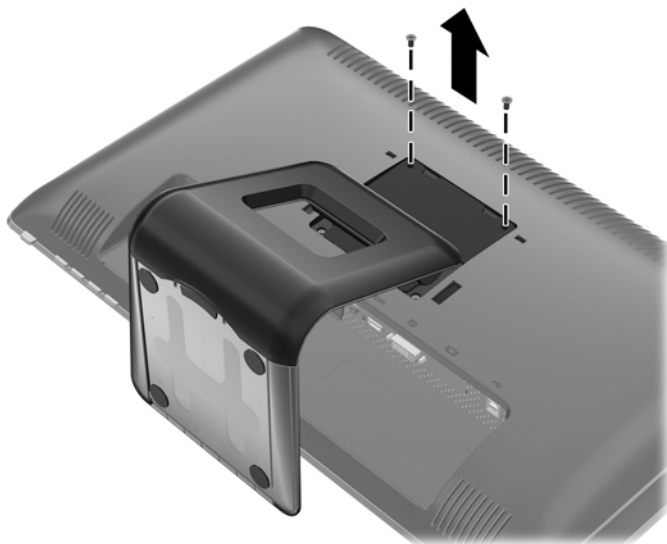
1. モニターのリアパネルからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. VESA カバープレートの上部を開き (1)、カバープレートをスライドさせてモニターのリアパネルから取り外します (2)。

図 3-12 VESA カバープレートの取り外し



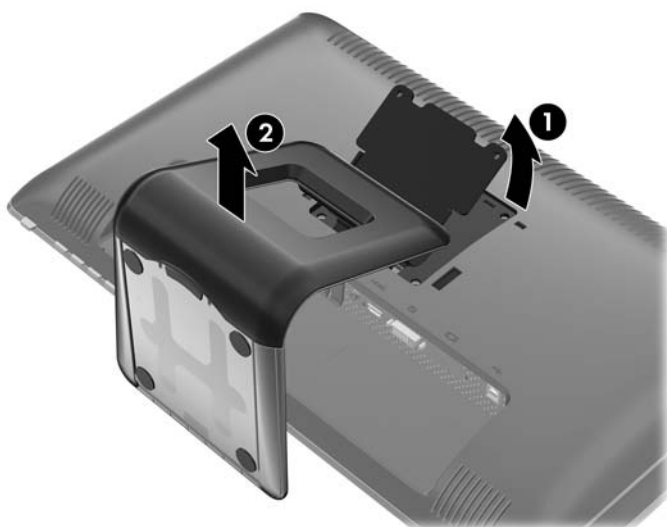
4. モニターパネルをモニタースタンドに固定している 2 つのネジを取り外します。

図 3-13 モニタースタンドのネジの取り外し




5. モニタースタンドの取り付け部分上部を傾け (1)、モニタースタンドを上方向にスライドさせて LCD パネルから取り外します (2)。

図 3-14 モニタースタンドの取り外し




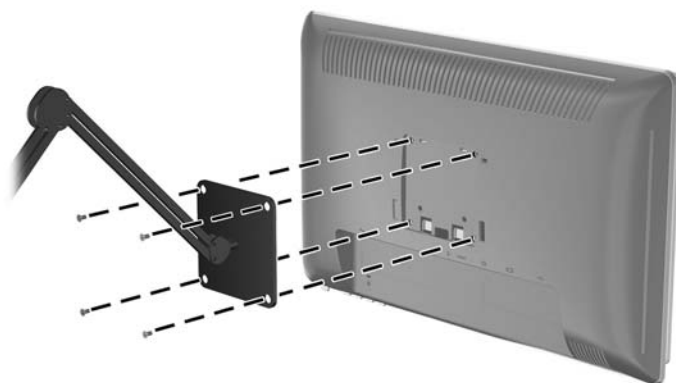
## モニターを取り付け

 **注記：** この固定器具は、UL または CSA の認定を受けた、壁への取り付け器具で支えるように設計されています。

1. モニターパネルをモニタースタンドから取り外します。[12 ページの「モニタースタンドの取り外し」](#)を参照してください。
2. モニターをスイングアームに取り付けるには、4 本の 10 mm ネジを、スイングアームプレートにある穴に通してからモニターのネジ穴に差し込みます。

△ **注意：** このモニターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジ（モニターに付属していません）を使用する必要があります。これより長いネジは、モニターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

 **3-15** スイングアームへのモニター取り付け



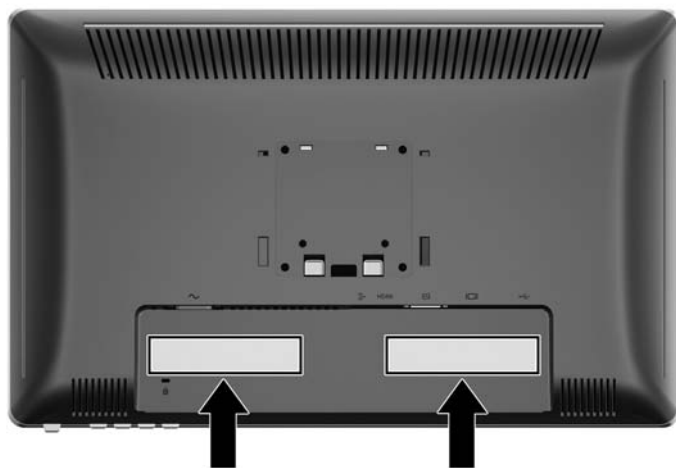
モニターを他の固定器具に取り付けるには、固定器具に付属の説明書に沿って操作して、モニターを安全に取り付けてください。

3. ケーブルをモニター本体に接続しなします。

## 製品ラベルの位置

モニターの製品ラベルには交換部品番号、製品番号、およびシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。製品ラベルはモニター本体の背面部分に貼付されています。

図 3-16 製品ラベルの位置



## ロックケーブルの取り付け

別売のロックケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。




---

## 4 モニターの操作

### ソフトウェアおよびユーティリティ

モニターには、コンピューターにインストール可能な以下のファイルが収録された CD が付属しています。

- .INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル
- タッチスクリーン用ドライバー（Windows® XP のみ）
- 自動調整用パターンユーティリティ
- モニターモデルごとのその他のソフトウェア

 **注記：** モニターに CD が付属していない場合は、.INF および .ICM ファイルを HP のサポートサイトからダウンロードできます。[17 ページの「インターネットからのダウンロード」](#)を参照してください。

---


### 情報ファイル

.INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Microsoft® Windows オペレーティングシステムが使用するモニターリソースを定義します。

このモニターは Microsoft Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、.INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

### Image Color Matching ファイル

.ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記：** .ICM のカラープロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

---




## .INF および .ICM ファイルのインストール

.INF および .ICM ファイルを更新する必要がある場合は、これらのファイルを CD からインストールするか、Web サイトからダウンロードしてインストールできます。

### CD からのインストール

.INF および .ICM ファイルを CD からコンピューターにインストールするには、以下の操作を行います。

1. CD をコンピューターの CD-ROM の読み出しが可能なオプティカルドライブに挿入します。CD のメニューが表示されます。
2. **[Monitor Driver Software Readme]** (モニタ ドライバ ソフトウェアの Readme) ファイルを読みます。
3. **[Install Monitor Driver Software]** (モニタ ドライバ ソフトウェアをインストールする) を選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. Windows の [画面のプロパティ] に適切な解像度およびリフレッシュレートが表示されていることを確認します。

 **注記：** インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されているモニターの .INF および .ICM ファイルを手動でインストールする必要があります。CD の [Monitor Driver Software Readme] ファイルを参照してください。

### インターネットからのダウンロード

最新のバージョンの .INF および .ICM ファイルを HP のモニターのサポート Web サイトからダウンロードするには、以下の操作を行います。


1. <http://www.hp.com/support/>にアクセスし、国または地域を選択します。
2. [ドライバー&ソフトウェアをダウンロードする] を選択してお使いの製品名などを [製品名・番号で検索] ボックスに入力し、[>] ボタンをクリックしてサポートページおよびダウンロードページへのリンクをクリックします。
3. システムがインストール要件を満たしていることを確認します。
4. 画面の説明に沿って、ソフトウェアをダウンロードします。

## タッチスクリーン用ドライバーのインストール (Windows XP のみ)


タッチスクリーン用ドライバーは、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムを使用するシステムにのみ必要です。Windows Vista® または Windows 7 を使用しているシステムでは、タッチスクリーン用ドライバーのインストールは必要ありません。

タッチスクリーン用ドライバーをインストールするには、以下の操作を行います。

1. CD をコンピューター上の CD-ROM の読み出しが可能なオプティカルドライブに挿入します。CD のメニューが表示されます（または、Windows の [エクスプローラー] を開き、CD から Touch\_Driver\_Setup.exe を実行します）。
2. CD メニューの [install Touch Driver for Microsoft Windows XP] (Microsoft Windows XP のタッチドライバをインストールする) をクリックします。タッチスクリーン用ドライバーのセットアップウィザードが表示されます。


 **注記：** Microsoft Windows Vista または Windows 7 オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、タッチスクリーン用ドライバーは必要ありません。

3. ウィザードの画面に表示される説明に沿ってドライバーをインストールします。


 **注記：** タッチジェスチャの機能は、Windows オペレーティングシステムの種類によって異なります。詳しくは、18 ページの「[タッチスクリーンの使用](#)」を参照してください。

## タッチスクリーンの使用

タッチ機能を使用する前に、USB ケーブルが接続されていること、タッチスクリーン用ドライバーが CD からインストールされていること（Windows XP を実行している場合）、および Windows オペレーティングシステムが起動していることを確認します。

 **注記：** タッチ機能が有効になっている場合は、モニターの LCD パネルの左端、右端、および下端での操作を妨げる障害物がないことを確認してください。

Windows オペレーティングシステムの起動後、マウス操作の代わりに適切なジェスチャ操作を行うことで、タッチ機能を使用できます。ジェスチャ操作の認識とその操作に関連する Windows ソフトウェアアプリケーションを以下に示します。

 **注記：** 以下の一覧に示すソフトウェアアプリケーションの一部では、指による操作が機能しない場合があります。


コンピューターでスリープモード中に、タッチスクリーンにタッチしてもスリープモードは解除されません。

表 4-1 タッチスクリーン操作

指の操作	Windows 7 でのサポート (タッチスクリーン用ドライバーは不要)	Windows Vista でのサポート (タッチスクリーン用ドライバーは不要)	Windows XP でのサポート (タッチスクリーン用ドライバーが必要)
<b>タップおよびダブルタップ:</b> タッチしてから離すことでクリック操作を行います。これは最も基本的なタッチ操作です。ダブルタップしてファイルやフォルダーを開くこともできます	可	可	可
<b>ドラッグ:</b> タッチしてから、画面上で指をスライドさせます。マウスのドラッグ操作と同様に、この操作によってデスクトップ上でアイコンを移動したり、ウィンドウを移動したり、(左または右方向にドラッグすることによって)テキストを選択したりできます	可	可	可

表 4-1 タッチスクリーン操作（続き）

指の操作	Windows 7 でのサポート（タッチスクリーン用ドライバーは不要）	Windows Vista でのサポート（タッチスクリーン用ドライバーは不要）	Windows XP でのサポート（タッチスクリーン用ドライバーが必要）
<b>スクロール</b> : スクロール可能なウィンドウ内のコンテンツ（スクロールバー以外）を上方向または下方向にドラッグして、スクロールします。ページをドラッグするときに指での操作をすばやく行うと、ページが最後までスクロールされた後、跳ね返るようにページが少し戻されます。スクロールは 1 つ以上の指で実行できます	可（制限あり）	可（制限あり）	不可
<b>ズーム</b> : 2 本の指を同時に置き、指と指の間を狭めたり広げたりすることで、ドキュメントを縮小したり拡大したりできます。この操作は、マウスホイールによる拡大および縮小がサポートされているアプリケーションで機能します	可	不可	不可
<b>2 本指タップ</b> : 2 本の指で同時にタップすると、指と指の間にある部分を中心に表示が拡大されたり初期設定の倍率に戻ったりします	可（制限あり）	不可	不可
<b>回転</b> : デジタル写真上の 2 点をタッチして手を回すと、本物の写真と同じように写真が回転します	可	不可	不可
<b>フリック</b> : ブラウザーなどのアプリケーションで左方向または右方向に指をはらうように動かすことで、ページを戻したり進めたりできます	可	可	不可
<b>プレスアンドホールド</b> : 指で少しの間画面を押し続け、アニメーションが表示された後に指を離すと右クリックと同じ操作が行われます	可	可	不可
<b>2 本目の指でプレスアンドタップ</b> : マウスやトラックパッドの右ボタンをクリックしたときのように、右クリックと同じ操作が行われます	可	不可	不可

 **注記:** タッチ操作がサポートされるアプリケーションでは、指またはスタイラスペン（別売）を使用できます。

## 自動調整機能の使用

モニターの **Auto/OK** (自動/OK) ボタンおよび付属の CD に収録されている自動調整用パターンソフトウェアユーティリティを使用して、VGA (アナログ) 入力対応の画面の画質を最適化します。

お使いのモニターが DVI または HDMI 入力対応の場合は、この手順を行わないでください。お使いのモニターが VGA (アナログ) 入力対応の場合は、この手順を行うことで以下の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線、および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 中心がずれて表示される画像

自動調整機能を使用するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォームアップ時間をとります。
2. モニターのフロントパネルにある **Auto/OK** ボタンを押します。
  - **Menu** (メニュー) ボタンを押し、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メインメニューから **[Image Control]** (イメージ コントロール) → **[Auto-Adjustment]** (自動調整) の順に選択することもできます。この章の [22 ページの「モニターの設定の調整」](#) を参照してください。
  - 期待する結果が得られない場合は、引き続き以下の操作を行います。
3. CD をディスクドライブに挿入します。CD メニューが表示されます。
4. **[Open Auto-Adjustment Software]** (自動調整ソフトウェアを開く) を選択します。セットアップのためのテストパターンが表示されます。
5. モニターのフロントパネルにある **Auto/OK** ボタンを押して、画像を安定させて中央に表示します。
6. **Esc** キーまたはキーボードの任意のキーを押して、テストパターンを終了します。

## フロントパネルの各部

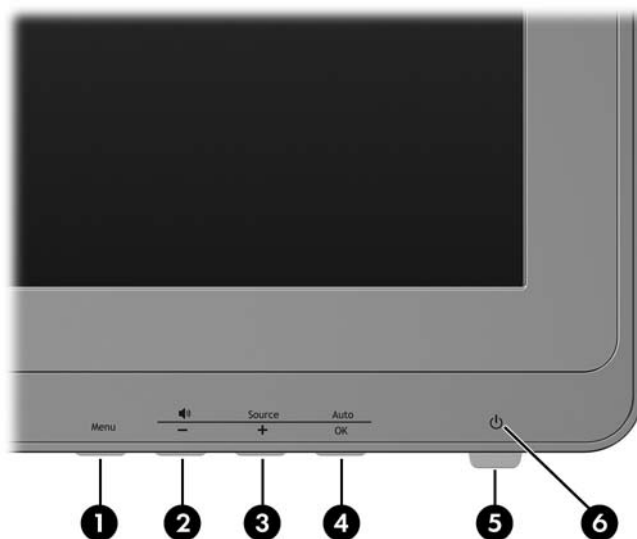



表 4-2 モニターのフロントパネルの各部

番号	アイコン	名称	機能
1	Menu	Menu (メニュー) ボタン	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
2		Volume/Minus (音量/マイナス)	OSD メニューが表示されていないときに押すと、[Volume adjustment] (音量調整) OSD サブメニューが開きます。  OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできません
3		Source/Plus (ソース/プラス)	OSD メニューが表示されていないときに押すと、ソースボタンが有効になりビデオ信号入力を選択できます  OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできません
4		Auto/OK (自動/OK)	OSD メニューが表示されていないときに押すと、自動調整機能が有効になり画面表示を最適化できます  OSD メニューが表示されているときに押すと、強調表示されたメニュー項目が選択されます
5		電源ボタン	リアパネルにある主電源スイッチがオンになっているときに、モニターをオンまたはオフにします
6		電源ランプ	水色：電源が入っている状態  オレンジ色に点灯：スリープモード  オレンジ色で点滅：スリープタイマーモード

## モニターの設定の調整

モニターの設定は、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用して調整できます。

 **注記：** ディスプレイの設定に問題がある場合は、OSD を開き、OSD メニューから **[Factory Reset]**（出荷時設定にリセット）を選択して、設定を工場出荷時の設定に戻してみてください。


### オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用

OSD を使用して、ユーザーの好みに応じて画面表示を調整します。OSD にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、**電源** ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、モニターのフロントパネルにある **Menu**（メニュー） ボタンを押します。



3. OSD メニュー内を移動するには、モニターのフロントパネルにある **+**（プラス） ボタンを押して上にスクロールするか、**-**（マイナス） ボタンを押して下にスクロールします。
4. OSD メニューから項目を選択するには、**+** ボタンか **-** ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、**OK** ボタンを押して機能を選択します。
5. フロントパネルの **+** ボタンか **-** ボタンを押してスケールを調整します。
6. 機能を調整したら **[Save and Return]**（保存して戻る）を選択します。または、設定を保存しない場合は、**[Cancel]**（キャンセル） → **[Main Menu]**（メイン メニュー） → **[Exit]**（終了）の順に選択します。

 **注記：** メニューが表示されているときに 30 秒（工場出荷時の初期設定）以上ボタンを押さないと、ファームウェアが現在の調整で保存されてから終了します。また、OSD が有効になっているときにビデオコントローラーをビデオモードに変更すると、現在の（調節された）設定が保存されないまま OSD がオフになり、新しいモードが表示されます。

## オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの選択

以下の表で、オンスクリーンディスプレイ (OSD) のメニュー項目と各機能について説明します。OSD のメニュー項目を変更した後、メニュー画面に以下のオプションが表示される場合は、どれかを選択します。

- **[Cancel]** (キャンセル) : 前のメニューレベルに戻ります。
- **[Save and Return]** (保存して戻る) : すべての変更を保存して、OSD メインメニューの画面に戻ります。この [Save and Return] オプションはメニュー項目を変更した場合にのみ有効です。


 **注記 :** お使いのシステムの設定によっては、以下に示すメニュー項目の一部が使用できない場合があります。

表 4-3 OSD メニュー








アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
	Brightness (輝度)	調整用スケール	画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期値は 90 です
	Contrast (コントラスト)	調整用スケール	画面のコントラストレベルを調整します。工場出荷時の初期値は 80 です
	Color (色)		画面の色を選択します。工場出荷時の初期値は、モデルに応じて 6500 K またはカスタムカラーです
		9300 K	わずかに青味を帯びた白色に変更します
		6500 K	わずかに赤味を帯びた白色に変更します
		sRGB	画面の色をイメージテクノロジー業界で使用される規格に準拠した色に設定します
		Quick View (クイックビュー)	以下の表示モードから選択します <ul style="list-style-type: none"> <li>● Movie (ムービー)</li> <li>● Photo (写真)</li> <li>● Gaming (ゲーム)</li> <li>● Text (テキスト)</li> <li>● Custom (カスタム) (残りの [Quick View] オプションのどれかで輝度、コントラスト、または色を調整した場合に保存される設定)</li> </ul>
		Custom Color (カスタムカラー)	カラースケールを選択および調整します <ul style="list-style-type: none"> <li>● R : 赤色のレベルを設定します</li> <li>● G : 緑色のレベルを設定します</li> <li>● B : 青色のレベルを設定します</li> </ul>
		Reset (リセット)	[Color] メニューを工場出荷時の設定値である 6500 K にリセットし、[Quick View] を初期設定の [Text] オプションにリセットします。[Custom Color] の RGB 設定はリセットされません。
	Image Control (イメージコントロール)		画像を調整します (VGA 入力のみ)
		Auto Adjustment (自動調整)	画像を自動的に調節します (VGA 入力のみ)

表 4-3 OSD メニュー (続き)
















アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
		Clock (クロック)	画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます (VGA 入力のみ)。[Clock] を調整することで、画像の水平表示も変更されます
		Clock Phase (クロックフェーズ)	画面の焦点を調整します (VGA 入力のみ)。これによって、水平ノイズが取り除かれ、文字の表示が鮮明になります
		Horizontal Position (水平表示位置)	画像の左右の位置を調整します (VGA 入力のみ)
		Vertical Position (垂直表示位置)	画像の上下の位置を調整します (VGA 入力のみ)
		Custom Scaling (カスタム スケール)	モニターへの情報の表示方法を選択します。以下のどれかの方法を選択します <ul style="list-style-type: none"> <li>Fill to Screen (スクリーンに合わせる): 画像が画面全体を占め、高さや幅が不均等なため歪んだり引き伸ばしたように見えたりします</li> <li>Fill to Aspect Ratio (縦横比に合わせる): 画像が画面に合うように調整されて、均等な画像表示を維持します</li> </ul>
		Sharpness (シャープネス)	画面の画像をより鮮明にまたはソフトに調整します
		Video Overdrive (ビデオ オーバードライブ)	Video Overdrive 機能のオン/オフを切り替えます。工場出荷時の初期設定はオフです
		Dynamic Contrast Ratio (ダイナミックコントラスト比)	DCR (Dynamic Contrast Ratio) 機能のオン/オフを切り替えます。工場出荷時の初期設定はオフです
	OSD Control (OSD コントロール)		OSD コントロールの表示位置を調整できます
		Horizontal OSD Position (水平 OSD 表示位置)	OSD メニューの表示位置を画面内の左右に移動します。工場出荷時の初期値は 50 です
		Vertical OSD Position (垂直 OSD 表示位置)	OSD メニューの表示位置を画面内の上下に移動します。工場出荷時の初期値は 50 です
		OSD Transparency (OSD 透明度)	OSD の背景にある情報を表示するよう調整します
		OSD Timeout (OSD タイムアウト)	ボタンを押してから OSD が表示され続ける時間の長さを秒単位で設定します。この範囲は 5~60 秒です。工場出荷時の初期値は 30 秒です
	Management (管理)		OSD を選択し、モニターの電源管理機能を調整します
		Power Saver (省電力)	省電力機能を有効にします。以下のどちらかを選択します <ul style="list-style-type: none"> <li>On</li> <li>Off</li> </ul> 工場出荷時の初期設定はオンです



表 4-3 OSD メニュー（続き）






アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
		Power On Recall（再開時に電源オン）	<p>予期せず電源がオフになった後にモニターへの電力を復旧します。以下のどちらかを選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• On</li> <li>• Off</li> </ul> <p>工場出荷時の初期設定はオンです</p>
		Mode Display（モード表示）	<p>OSD メインメニューを表示するたびに、解像度、リフレッシュレートおよび周波数の情報を画面に表示します。以下のどちらかを選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• On</li> <li>• Off</li> </ul> <p>工場出荷時の初期設定はオンです</p>
		Monitor Status Display（モニター ステータス メッセージ）	<p>モニターの電源がオンになるたびに、モニターの動作状況を表示します。ステータスの表示位置を以下の中から選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Top（上）</li> <li>• Middle（中）</li> <li>• Bottom（下）</li> <li>• Off</li> </ul> <p>工場出荷時の初期設定は上です</p>
		DDC/CI Support (DDC/CI サポート)	<p>コンピューターで、輝度、コントラスト、色温度などの一部の OSD メニュー機能を制御できるようにします。以下のどちらかを選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• On</li> <li>• Off</li> </ul> <p>工場出荷時の初期設定はオンです</p>
		Bezel Power LED（ベゼルの電源ランプ）	<p>モニターのフロントパネルにある電源ランプをオフにします。工場出荷時の初期設定はオンです</p>

表 4-3 OSD メニュー (続き)










アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
		Volume (音量)	<p>音量調整のメニューオプションを表示します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニタースピーカーの音量レベルを調整できません。範囲は 0~100 です。初期設定は 90 です</li> <li>Select Audio Auto-Detect (オーディオの自動検出を選択): PC オーディオソースと HDMI オーディオソースのどちらであるかをモニターによって自動的に検出できます (2310t モデルのみ)</li> <li>Select HDMI Audio (HDMI オーディオを選択): HDMI オーディオソースを手動で選択できます (2310t モデルのみ)</li> <li>Select PC Audio (PC オーディオの選択): PC オーディオソースを手動で選択できます (2310t モデルのみ)</li> <li>Speaker Self-Test (スピーカ自己診断): スピーカーの機能をテストします</li> </ul>
		Sleep Timer (スリープタイマ)	<p>タイマー調整のメニューオプションを表示します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Set Current Time (現在の時刻の設定): 時間および分単位で現在の時刻を設定します</li> <li>Set Sleep Time (電源オフの時刻の設定): モニターがスリープモードに入る時刻を設定します</li> <li>Set on Time (電源オンの時刻の設定): スリープモードから復帰する時刻を設定します</li> <li>Timer (タイマ): スリープタイマー機能のオン/オフを設定します。初期設定はオフです</li> <li>Sleep Now (スリープモードの実行): すぐにモニターがスリープモードに入るように設定します</li> </ul>
	Language (言語)		OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定は英語です
	Information (情報)		モニターに関する重要な情報を選択/表示します
		Current Settings (現在の設定)	現在のビデオ入力モードを表示します
		Recommended Settings (推奨設定)	お使いのモニターに推奨される解像度モードおよびリフレッシュレートを表示します
		Serial Number (シリアル番号)	モニターのシリアル番号を表示します。シリアル番号は HP のテクニカルサポートにお問い合わせになる場合に必要となります
		FW Version (ファームウェアバージョン)	モニターのファームウェアバージョンを表示します
		Backlight Hours (バックライト動作時間)	バックライトの合計の動作時間を表示します
		Service Support (サービスサポート)	<a href="http://www.hp.com/support/">http://www.hp.com/support/</a>

表 4-3 OSD メニュー (続き)

アイコン	メインメニュー	サブメニュー	説明
	Factory Reset (出荷時設定にリセット)		すべての OSD メニュー設定および DDC/CI サポートの設定を工場出荷時の初期設定に戻します。ただし、言語設定は除きます
	Source Control (ソースコントロール)		ビデオ入力信号を選択します。工場出荷時の初期設定は DVI です
		DVI	ビデオ入力信号として DVI を選択します
		HDMI (2310t モデルのみ)	ビデオ入力信号として HDMI を選択します
		VGA (2310ti モデルのみ)	ビデオ入力信号として VGA を選択します
	Default Source (初期設定のソース)		<p>モニターが 2 つの有効なビデオソースに接続されている場合に、初期設定または最優先されるビデオ入力信号を選択します。ビデオ方式は自動的に判断されます。以下のどれかを選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DVI</li> <li>• HDMI (2310t モデルのみ)</li> <li>• VGA (2310ti モデルのみ)</li> </ul> <p>工場出荷時の初期設定は DVI です</p>
	Auto-Switch Source (ソース自動切り換え)		システムの自動ビデオ信号入力のオン/オフを切り替えます。工場出荷時の初期設定はオンです
	Exit (終了)		OSD メニュー画面を終了します

## デジタルコンバージョンの最適化

OSD メニューの [Clock] (クロック) および [Clock Phase] (クロック フェーズ) を調節して、画質を向上させることができます。

☞ **注記:** [Clock] および [Clock Phase] 機能はアナログ入力を使用している場合にのみ調整できます。デジタル入力ではこれらの機能は調整できません。

[Clock Phase] の設定は [Clock] の設定に影響されるので、最初に [Clock] を正しく設定しておく必要があります。自動調整機能を使用しても期待する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

- **[Clock]** : 画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **[Clock Phase]** : 画像の歪みまたはぶれを最小限に抑えます。

☞ **注記:** これらの調整を行う場合は、自動調整用のソフトウェアユーティリティを使用すると最適な結果が得られます。

[Clock] および [Clock Phase] の設定値を調整しているときにモニターの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、OSD メニューの [Factory Reset] (出荷時設定にリセット) から [Yes] (はい) を選択します。

## モニターの状態の確認

モニターが以下の状態になると、特別なメッセージがモニター画面に表示されます。

- **[Monitor Status]** : モニターの電源が入るか、入力ソース信号が変更されると、モニターステータスメッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブな信号の入力、ソース自動切り換え設定のステータス（オンまたはオフ）、初期設定のソース信号、現在のプリセットディスプレイ解像度、および推奨されるプリセットディスプレイ解像度が示されます。
- **[Input Signal Out of Range-Change resolution setting to 1920 x 1080 - 60Hz]** : 解像度およびリフレッシュレートがモニターでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニターが入力信号をサポートできないことを示します。解像度を 1280 × 1024、リフレッシュレートを 60 Hz に設定してください。
- **[No Source Signal]** : モニターがビデオ入力コネクタでコンピューターからのビデオ信号を受信していないことを示します。コンピューターまたは入力信号ソースがオフまたは省電力モードになっていないか確認してください。
- **[Auto Adjustment in Progress]** : 自動調整機能が作動中であることを示します。
- **[Monitor Going to Sleep]** : モニターがスリープモードになることを示します。
- **[Check Video Cable]** : ビデオケーブルがコンピューターに正しく接続されていないことを示します。
- **[OSD Lockout]** : フロントパネルにある **Menu**（メニュー）ボタンを 10 秒間押し続けると、オンスクリーンディスプレイ（OSD）を有効または無効にできます。OSD をロックすると、**[OSD Lockout]**（OSD のロックアウト）という警告メッセージが 10 秒程度表示されます。
  - OSD がロックされている場合、ロックを解除するには **Menu** ボタンを 10 秒間押し続けます。
  - OSD のロックが解除されている場合、ロックするには **Menu** ボタンを 10 秒間押し続けます。
- **[Power Button Lockout]** : 電源ボタンがロックされていることを示します。電源ボタンをロックすると、**[Power Button Lockout]**（電源ボタンのロックアウト）という警告メッセージが 10 秒程度表示されます。
  - 電源ボタンがロックされている場合、ロックを解除するには電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。
  - 電源ボタンのロックが解除されている場合、ロックするには電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。
- **[Dynamic Contrast Ratio On]** : ダイナミックコントラスト比がオンになっていることを示します。この状態になるのは、OSD メニューの **[Image Control]**（イメージコントロール）メニューでダイナミックコントラスト比が有効になっている場合か、OSD の **[Quick View]**（クイックビュー）サブメニューで **[Movie]**（ムービー）モードが選択されている場合です。
- **[Dynamic Contrast Ratio Off]** : ダイナミックコントラスト比がオフになっていることを示します。この状態になるのは、OSD メニューの **[Image Control]** メニューでダイナミックコントラスト比が無効になっている場合か、または OSD の **[Quick View]** サブメニューで **[Movie]** モードが他の表示モードに変更されている場合です。
- **[Settings Saved as Custom]** : **[Quick View]** サブメニューのカスタム設定が保存されたことを示します。これは、**[Quick View]** メニューでプリセットが選択されてから、さらに OSD で輝度、コントラストまたは色が変更された場合に表示されます。
- **[Speaker Self-Test In Progress]** : モニターが左右のスピーカーをテストしていることを示します。


## スリープタイマーモード

スリープタイマーモードは、毎日同じ時刻にモニターの電源を入れたり切ったりするように設定できる省電力機能です。この省電力機能を使用すると、モニターのパックライトの寿命を延ばすことができます。スリープタイマーモードには 5 つの設定があります。

- Set Current Time（現在の時刻の設定）
- Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）
- Set On Time（電源オンの時刻の設定）
- Timer: On/Off（タイマ：オン/オフ）
- Sleep Now（スリープモードの実行）

タイマーを設定するには、以下の操作を行います。

1. モニターのフロントパネルの **Menu**（メニュー）ボタンを押して **[OSD Menu]**（OSD メニュー）を表示します。
2. メニューを下に移動して **[Management]**（マネジメント）を強調表示します。
3. **OK** ボタンを押して **[Management]** を選択します。
4. メニューを下に移動し、**[Sleep Timer]**（スリープタイマ）→ **[Set Current Time]** の順に強調表示して選択します。

 **注記：** 必ず現在の時刻をあらかじめ設定しておいてから **[Sleep Time]**（電源オフの時刻）や **[ON Time]**（電源オンの時刻）を設定してください。時刻は 24 時間単位で表示されます。たとえば、午後 1 時 15 分は 13 時 15 分と表示されます。

電源の障害が発生するか、またはモニターへの電力供給が遮断されると、タイマーが 00:00 にリセットされます。その場合は、スリープタイマーモードをリセットする必要があります。


5. **OK** ボタンを一度押すと調整モードとなり、時間が点滅します。
6. **-**（マイナス）ボタンおよび **+**（プラス）ボタンを使用して時間を設定します。
7. **OK** ボタンを再度押すと、分が点滅します。
8. **-**ボタンおよび **+**ボタンを使用して分を設定します。
9. **OK** ボタンを押すと、設定した時刻が確定します。
10. 現在時刻を設定すると、自動的に **[Set Sleep Time]** へ移動し、時間が強調表示されて点滅します。手順 6~9 を繰り返し行って電源オフの時刻を調整します。
11. 電源オフの時刻を設定しない場合は、**OK** ボタンを 2 回押し、**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択してメニューを終了します。
12. 電源オフの時刻を設定すると、自動的に **[Set On Time]** へ移動し、時間が強調表示されて点滅します。手順 6~9 を繰り返し行って電源オンの時刻を調整します。
13. **[Timer]**（タイマ）のモードを **[ON]**（オン）に設定し、スリープタイマーの設定を起動します。
14. 設定が完了したら、**[Save and Return]** を押してメニューを終了します。

5 番目の選択項目 **[Sleep Now]**（スリープモードの実行）を選択すると、モニターのパックライトがオフになり、スリープモードになります。設定した電源オンの時刻になるか、またはモニターボタンを押すと、電源がオンになります。

## sRGB のサポート

お使いのモニターは、色管理の技術として sRGB をサポートするように設計されています。sRGB はイメージテクノロジー業界で使用される色の規格に準拠しています。


sRGB のサポートを活用するには、モニターの色温度を標準に変更し、sRGB カラープロファイル (ICM) のファイルをインストールする必要があります。

 **注記：** 色温度を内蔵の sRGB に設定するとコンピューターのモニターに表示される sRGB 画像の色精度が向上しますが、それでも色が正しく再現されない場合があります。

### 色温度の変更

1. モニターのフロントパネルにある **Menu** (メニュー) ボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) の **[Main Menu]** (メイン メニュー) を表示します。
2. **[Color]** (色) を選択します。
3. **[sRGB]** を選択します。
4. **[Save and Return]** (保存して戻る) を選択してメニューを終了します。

### Windows 2000 および Windows XP への sRGB ICM ファイルのインストール

 **注記：** 以下の手順を完了するには、管理者または管理者グループのメンバーとしてログインしている必要があります。コンピューターがネットワークに接続されている場合、ネットワークポリシーの設定によってこの手順を完了できないことがあります。sRGB ICM ファイルは、Windows 95 および Windows NT®ではサポートされていません。

1. [コントロール パネル] の **[画面]** アイコンをクリックします。
2. **[画面のプロパティ]** ウィンドウで、**[設定]** タブを選択して **[詳細]** (Windows XP では **[詳細設定]**) ボタンをクリックします。
3. **[色の管理]** タブを選択してから、**[追加]** ボタンをクリックして **[プロファイルの関連付けを追加]** ダイアログボックスを開きます。
4. **[sRGB Color Space Profile.icm]** ファイルを選択して、**[追加]** ボタンをクリックします。
5. お使いのモニター用のカラープロファイルをアクティブにするには、初期設定のモニタープロファイルとして設定する必要があります。**[sRGB Color Space Profile]** を選択して、**[既定値に設定]** をクリックします。
6. **[適用]** または **[OK]** をクリックします。

### Windows Vista への sRGB ICM ファイルのインストール

1. [コントロール パネル] の **[デスクトップのカスタマイズ]** アイコンをクリックします。
2. **[個人設定]** をクリックします。
3. **[画面の設定]** をクリックします。
4. **[詳細設定]** ボタンをクリックします。
5. **[色の管理]** タブをクリックして、**[色の管理]** ボタンをクリックします。
6. **[詳細設定]** タブをクリックしてから、**[システムの既定の変更]** ボタンをクリックします。

7. [デバイス] タブで[追加] ボタンをクリックします。
8. [RGB Color Space Profile.icm] ファイルを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
9. お使いのモニター用のカラープロファイルをアクティブにするには、初期設定のモニタープロファイルとして設定する必要があります。[sRGB Color Space Profile] を選択して、[既定値に設定] をクリックします。

## Microsoft Windows 7 への sRGB ICM ファイルのインストール

1. [コントロール パネル] の [デスクトップのカスタマイズ] アイコンをクリックします。
2. [ディスプレイ] をクリックします。
3. [ディスプレイの設定の変更] をクリックします。
4. [詳細設定] をクリックします。
5. [色の管理] タブをクリックして、[色の管理] ボタンをクリックします。
6. [詳細設定] タブをクリックしてから、[システムの既定の変更] ボタンをクリックします。
7. [デバイス] タブで [追加] ボタンをクリックします。
8. [RGB Color Space Profile.icm] ファイルを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
9. お使いのモニター用のカラープロファイルをアクティブにするには、初期設定のモニタープロファイルとして設定する必要があります。[sRGB Color Space Profile] を選択して、[既定値に設定] をクリックします。



# A トラブルシューティング

## 一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	考えられる原因	解決方法
電源ランプが点灯していない	電源が入っていない	アースされた電源コンセントおよびモニターに電源コードが正しく接続され、モニターの電源ボタンがオンになっていることを確認します
	ベゼルの電源ランプが OSD で無効になっている	Menu (メニュー) ボタンを押して OSD を開き、[Management] (管理) → [Bezel Power LED] (ベゼルの電源ランプ) の順に選択してから、[On] (オン) モードに設定します
画面に何も表示されない	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニターのフロントパネルにある電源ボタンがオフになっている	フロントパネルの電源ボタンを押します <b>注記:</b> 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが正しく接続されていない	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは <a href="#">4 ページの「モニターのセットアップ」</a> を参照してください
	画面表示を消すユーティリティが有効になっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
タッチ機能が動作していない	USB ケーブルが接続されていない	付属の USB ケーブルをモニターおよびコンピューターに接続します
	タッチスクリーン用ドライバーがインストールされていない (Windows XP のみ)	お使いのシステムが Windows XP を実行している場合は、付属の CD からタッチスクリーン用ドライバーをインストールします
モニターの画像が歪んでいる、文字がぼやけて不鮮明になっている、画質が低下している	コンピューターのグラフィックスカードの解像度が、モニターの推奨解像度よりも高くまたは低く設定されている	最高の画質を得るには、コンピューターのディスプレイ解像度をモニターで推奨されている解像度と同じモードに設定します
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度およびコントラストの設定が低すぎる	フロントパネルにある Auto/OK (自動/OK) ボタンを押します。それでも画質が改善されない場合は、Menu (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開き、必要に応じて輝度およびコントラストのスケールを調整します
画像が飛んだり、ちらついたり、波のパターンが表示されたりする	他の電気装置からの干渉が起きている	電氣的な干渉を引き起こす可能性のある電気装置を、モニターからできるだけ離します
画像の中心と画面の中心がずれている	位置を調整する必要がある	Menu ボタンを押して OSD メニューを表示します。[Image Control] (イメージコントロール) の [Horizontal Position] (水平表示位置) または [Vertical Position] (垂直表示位置) を選択して、画像の水平位置または垂直位置を調整します

トラブル	考えられる原因	解決方法
[Check Video Cable] と画面に表示される	モニターのビデオケーブルが外れている	適切なビデオケーブル (HDMI、DVI、または VGA) で、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
[Input Signal Out of Range.Change Settings to 1920 x 1080 @ 60Hz] と画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	コンピューターを再起動し、Safe モードに入ります。設定値をサポートされている値に変更します (詳しくは37 ページの「 <a href="#">プリセットディスプレイ解像度について</a> 」を参照してください)。コンピューターを再起動し、新しい設定値を有効にします
モニターの電源は切れるが、省電力スリープモードには移行していないように見える	モニターの省電力機能が無効になっている	モニターの OSD メニューで、[Management] (マネジメント) → [Power Saver] (省電力) の順に選択します。モニターを省電力モードに移行するには、この機能がオンに設定されている必要があります
HDMI 接続を使用するとオーディオが聞こえない	コンピューターが HDMI オーディオ用に設定されていない	オペレーティングシステムのメインオーディオ入力として HDMI オーディオが選択されていることを確認します。確認するには、Windows の [スタート] ボタン → [コントロール パネル] の順にクリックします。[サウンド] をクリックし、[再生] タブの HDMI 出力の横にチェックマークが入っていることを確認して、[OK] をクリックします
	HDMI オーディオがモニターの OSD で選択されていない	Menu (メニュー) ボタンを押して OSD を開き、[Volume] (音量) を選択して、[Select HDMI Audio] (HDMI オーディオを選択) または [Select Audio Auto-Detect] (オーディオの自動検出を選択) のどちらかを選択します
内蔵スピーカーからオーディオが聞こえない	音量がミュート (消音) に設定されているか、または低すぎる	以下の操作を行います <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドフォンを使用してソースのオーディオを聞き、そのソースの信号が適切に出力されていることを確認します</li> <li>Menu (メニュー) ボタンを押して OSD メニューにアクセスします。[Management] (管理) → [Volume] (音量) の順に選択して、音量を調整します</li> <li>フロントパネルの音量ボタンで音量を上げます</li> <li>スピーカーの音量がミュート (消音) に設定されていないか、または低すぎないかを確認します。Windows の [スタート] ボタン → [コントロール パネル] → [ハードウェアとサウンド] の順にクリックします。[サウンド] で [システム音量の調整] をクリックします。[メイン音量] のスライダーを上動かします</li> </ul>
[OSD Lockout] と画面に表示される	モニターの OSD ロックアウト機能が有効になっている	Menu ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD のロックを解除します
[Power Button Lockout] と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します

## オンライン技術サポート

テクニカルサポート情報、ユーザー自身によるトラブル解決に役立つツール、オンラインサポート、IT 専門家のコミュニティフォーラム、マルチベンダーによる広範囲の知識ベース、監視および診断ツールについては、<http://www.hp.com/support/> にアクセスして参照してください。

## お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目を参照しても問題が解決しない場合は、テクニカルサポートをご利用ください。テクニカルサポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラーメッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

## B 技術仕様

注記： すべての動作仕様はコンポーネントの製造元から提供されています。動作仕様とは、HP のコンポーネントの製造元すべての、通常のレベルの動作仕様のうち最も高い仕様を表します。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

### 2310t および 2310ti モデル

表 B-1 2310t および 2310ti モデルの仕様

ディスプレイ タイプ	58.42 cm ワイドスクリーン TFT LCD	23 インチワイドスクリーン
表示可能画像サイズ	58.42 cm (対角方向)	23 インチ (対角方向)
傾斜角度	-5~55°	
最大質量 (非梱包時)	8.2 kg	18.1 ポンド
寸法 (モニタースタンドを含む)		
高さ	38.9 cm	15.3 インチ
奥行き	19.9 cm	7.8 インチ
幅	57.3 cm	22.6 インチ
最大グラフィックス解像度	1920×1080 (60 Hz) アナログ入力 1920×1080 (60 Hz) デジタル入力	
最適グラフィックス解像度	1920×1080 (60 Hz) アナログ入力 1920×1080 (60 Hz) デジタル入力	
テキストモード	720×400	
ドットピッチ	0.265 (縦) × 0.265 (横) mm	
ピクセル密度 (Pixels Per Inch)	95.7 PPI	
水平周波数	24~94 kHz	
垂直周波数	50~76 Hz	
環境条件 動作保証温度：		
動作時	5~35℃	41~95°F
保管時	-20~60°C	-4~140°F
相対湿度	20~80%	
電源	100~240 VAC、50/60 Hz	
動作保証高度：		
オペレーティング	0~5,000 m	0~16,400 フィート
保管時	0~12,192 m	0~40,000 フィート

**表 B-1 2310t および 2310ti モデルの仕様 (続き)**

測定された消費電力	
最大電力	56 W
通常設定	47 W
スリープ時	2 W
ベゼルスイッチオフ時	1 W
入力端子	DVI コネクター× 1 (ケーブル付属、2310t および 2310ti モデル)、HDMI コネクター× 1 (ケーブル別売、2310t モデルのみ)、VGA コネクター× 1 (ケーブル別売、2310ti モデルのみ)

## プリセットディスプレイ解像度について

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、工場出荷時設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

### 2310t および 2310ti の工場出荷時プリセット表示モード

**表 B-2 工場出荷時のプリセットモード**

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.5	59.9
2	720×400	31.5	70.1
3	800×600	37.9	60.3
4	1024×768	48.4	60.0
5	1280×720	45.00	60.00
6	1280×960	60.0	60.0
7	1280×1024	63.98	60.0
8	1440×900	55.94	59.89
9	1600×1200	75.0	60.0
10	1680×1050	65.0	60.0
11	1920×1080	67.5	60.0

### 2310t の高解像度ビデオフォーマット

モニターが HDMI コネクターを使用してビデオモードで動作している (データを表示していない) 場合は、標準解像度のビデオに加えて以下の高解像度モードがサポートされます。

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)

1	480p	720×480	31.469	60
2	720p60	1280×720	45	60
3	576p	720×576	31.25	50
4	720p50	1280×720	37.5	50
5	1080p60	1920×1080	67.5	60
6	1080p50	1920×1080	56.25	50

## ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合


このような場合、オンスクリーンディスプレイメニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、これらのモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、少なくとも 20 種類のユーザーモードを登録して保存できます。

## エネルギーセーブ機能

モニターが通常の動作モードのときは、モニターの消費電力は 47 W 未満になり、電源ランプが水色に点灯します。

このモニターでは、省電力状態もサポートされます。水平同期信号と垂直同期信号の一方または両方が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。モニターが省電力状態になると、2 W 未満の電力しか消費されません。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

エネルギーセーブ機能の設定の手順については、コンピューターに付属の説明書を参照してください（エネルギーセーブ機能は、省電力機能、パワーマネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

 **注記：** モニターの省電力機能は、エネルギーセーブ機能を備えたコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターのエネルギーセーブユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターのエネルギーセーブユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

---

## C 規定に関するご注意

### Federal Communications Commission Notice (米国向け)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rule. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

### Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

### Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

### Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (米国向け)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding the product, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 530113

Houston, Texas 77269-2000



Or, call 1-800-HP-INVENT (1-800 474-6836)

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 510101

Houston, Texas 77269-2000

Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

## Canadian Notice (カナダ向け)

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

## Avis Canadien (カナダ向け)

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

## European Union Regulatory Notice (欧州連合同向け)


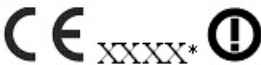
This product complies with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC
- EuP Directive 2005/32/EC, where applicable

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) which are listed on the EU Declaration of Conformity issued by Hewlett-Packard for this product or product family.

This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product:

---

 <small>This marking is valid for non-Telecom products and EU harmonized Telecom products (e.g. Bluetooth).</small>	 <small>This marking is valid for EU non-harmonized Telecom products. *Notified body number (used only if applicable - refer to the product label).</small>
This marking is valid for non-Telecom products and EU harmonized Telecom products (e.g. Bluetooth)	This marking is valid for EU non-harmonized Telecom products. *Notified body number (used only if applicable - refer to the product label).

---

Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany

The official EU CE declaration of conformity for this device may be found at <http://www.hp.com/go/certificates>.

## German Ergonomics Notice (ドイツ向け)

HP products which bear the “GS” approval mark, when forming part of a system comprising HP brand computers, keyboards and monitors that bear the “GS” approval mark, meet the applicable ergonomic requirements. The installation guides included with the products provide configuration information.

## 日本向け

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

## Korean Notice (韓国向け)

B급 기기  
(가정용 방송통신기기)

이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

## 電源コードの要件

このモニターの電源には自動ライン電圧切替機能 (ALS) が付属しています。この機能によって、モニターは 100~120 V または 200~240 V の AC 電圧で動作します。

このモニターに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧および電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は 0.75 mm<sup>2</sup>/18 AWG 以上、長さは 1.8~3.6 m でなければなりません。使用する電源コードの種類については、HP のサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクターの取り扱いにも注意して配線してください。

## 日本国内での電源コードの要件

この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードのみをお使いください。

△ **注意：** 付属の電源コードを、他の製品で使用しないでください。

## 製品環境に関するご注意

### 有害物質の破棄

この HP 製品には、廃棄の際に特別な処理を必要とする水銀が液晶ディスプレイの蛍光ランプに含まれています。

これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体または EIA (Electronic Industries Alliance) (<http://www.eiae.org/>、英語サイト) にお問い合わせください。

### Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union (欧州連合向け)



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling or waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact the local city office, the household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

### HP リサイクルプログラム

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インクカートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/household.asp> を参照してください。

### 化学物質

HP では、REACH (Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council) などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、<http://www.hp.com/go/reach/> (英語サイト) にアクセスしてください。

### 製品の部材表示について

日本における製品含有表示法、JISC0950, 2008 に基づき、製造事業者は、2006 年 7 月 1 日以降に販売された電気・電子機器の特定化学物質の含有について情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、<http://www.hp.com/go/jisc0950/> (英語サイト) を参照してください。

## 有毒有害物质/元素的名称及含量表

根据中国  
《电子信息产品污染控制管理办法》

### 液晶显示器

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
液晶显示器显示面板	X	X	○	○	○	○
机箱/其它	X	○	○	○	○	○

### CRT 显示器

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
阴极射线管	X	○	○	○	○	○
机箱/其它	X	○	○	○	○	○

O: 表示该有毒或有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

X: 表示该有毒或有害物质至少在该部件所用的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

表中标有“X”的所有部件都符合欧盟 RoHS 法规 — “欧洲议会和欧盟理事会 2003 年 1 月 27 日关于电子电器设备中限制使用某些有害物质的 2002/95/EC 号指令”。

注: 环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件。

## Turkey EEE Regulation (トルコ向け)

In Conformity with the EEE Regulation

EEE Yönetmeliğine Uygundur

---

## D LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針

この TFT モニターは、トラブルが発生しない高い性能を保証するために、高精度の技術を使用し、HP の製造基準に基づいて製造されています。それでもなお、ディスプレイに小さな輝点、暗点、または黒点が現れるという外見上の欠陥が発生する場合があります。これはどのメーカーから提供される LCD ディスプレイにも共通するもので、HP 製の LCD に特有の問題ではありません。1 つ以上のピクセルまたはサブピクセルに欠陥がある場合、この問題が発生します。

- 1 つのピクセルは、赤、緑、青のそれぞれ 1 つずつのサブピクセルで構成されています。
- 欠陥のあるピクセルは、常に点灯している（暗い画面に輝点が表示される）場合と、常に消灯している（明るい画面に暗点が表示される）場合があります。点灯しているピクセルは、よりはっきりと確認できます。
- 欠陥のあるサブピクセル（欠陥ドット）は、欠陥のあるピクセルより見えづらくなっています。これは、サブピクセルが小さく、特定の背景画面の時にしか確認できない場合があるためです。

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニターを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュレートで使用し、画面から 50 cm ほど離れた位置で見ます。

業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ない LCD が生産されるようになることが期待されます。HP では、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。